

2008年8月21日

地球と子どもの明日を考える<ガラスパワーキャンペーン> ～防災ガラスを三重県「名張市立名張小学校」に寄贈～

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：石村和彦）は、安全・防災・地球温暖化防止に向けた<ガラスパワーキャンペーン>の一環として、2008年6月に防災ガラスの寄贈先を決定するインターネット投票を実施しましたが、その結果、三重県の名張市立名張小学校が第1位となり、本日名張市役所で贈呈式を行いました。寄贈場所は指定避難場所である同校の体育館で、ガラス全て（計約160㎡）を防災ガラスに交換します。

近年、地震や台風などの自然災害が多発し、割れたガラスによるケガや避難場所のガラスが割れて避難ができないなどの被害が発生しています。当社は2005年10月より、建築用ガラス製造企業としてこのような被害発生防止のため、割れにくく、また割れても破片が飛び散りにくい防災機能を持った「合わせガラス」の普及及び認知向上を目的とした防災ガラス寄贈活動を展開しています。

2008年からは新たな寄贈プロジェクトとして、全国から防災ガラス寄贈先候補を公募し、寄贈先候補10件の中からキャンペーン会員によるインターネット投票を通して最終決定された指定避難所（年間5件）に防災ガラスを寄贈します。名張市立名張小学校はインターネット投票による寄贈先第1号です。

なお、2008年11月には第2期投票を予定しており、寄贈先候補8件の中から3件の寄贈先を決定します。

当社では、今後も参加者全員が実践者として自覚し積極的に実行する「参加型キャンペーン」を通じ、安心で安全な社会づくりに貢献していきます。

以上



防災ガラスが寄贈された名張小学校体育館

本件に関するお問い合わせ先：旭硝子（株）広報・IR室長 上田 敏裕
（担当：貞包 TEL：03 - 3218 - 5408 E-mail：info-pr@agc.co.jp）
ガラスパワーキャンペーン 事務局
（TEL：03 - 6238 - 4547 E-mail：glasspower@agc.co.jp）